

＜教職員研修＞

7月21日、さいたま市教育委員会より出されている「不祥事根絶のための校内研修用事例集」を用いて教職員研修を実施しました。

教職員の不祥事根絶のため、様々な事例を取り上げ、不祥事を他人事としてではなく、自らの問題として考え、また、学年等で話し合う時間を設けました。

「何が問題だったのか」「どう行動するべきだったのか」、教育公務員として、学校の組織の一員として、自らの行動を様々な視点から見つめ直しています。

【未然防止のために自身の振り返り】

- ・児童の指導にあたっては、人権教育の視点に立った言動を心掛けている。
- ・児童と信頼関係を作る努力をしている。
- ・児童の指導をする際は、複数の教職員で対応することを基本とする。やむを得ない場合は、他の教職員の目が届く場所等にして対応する。

